

住まいづくりと まちづくり その地域性とは？ —HOPE 計画の 40 年—



地域自らが考え、地域の住文化に根ざした住まい・まちづくりを推進するために 1983 年に国土交通省（当時建設省）住宅局の補助事業として地域住宅計画＝HOPE 計画が創設され、多くの地方自治体が計画を策定、実施してきた。以来 40 年近く、地域自らが、地域の人・物・技術の活用によって、個性ある地域の実現による活性化や持続可能な社会の実現を目指した。そしてこれら一連の考え方は、地域別省エネ基準、そして地域型復興住宅建設と、様々な住まい・まちづくりのフェーズで用いられ、現在の住まい・まちづくり手法には必要不可欠なものとなった。では実際その「地域性」とは何だったのだろうか？
これまでの、そしてこれからの我が国の住まい・まちづくりのあり方を見据えながら、この「地域性」とは何かを改めて展望する。

開催日時：令和 4 年 8 月 6 日 13:00～16:30
開催場所：オンライン（接続先は申し込み者に前日までに別途連絡）
参加定員：200 名
参加費用：¥1,000（要事前申込み）
参加申込先：下記 URL より詳細をご確認の上、お申し込みください
<https://www.eng.tohoku.ac.jp/media/files/pdf/edu/grad/lec08.pdf>

プログラム（進行 | 佃 悠 東北大学工学研究科都市・建築学専攻 准教授）

- 13:00 開会の挨拶 | 小野田 泰明 東北大学工学研究科都市・建築学専攻 教授
- 13:05 趣旨説明、参加者紹介 | 岩田 司 東北大学災害科学国際研究所 教授
- 13:15 基調講演「HOPE 計画の時代性と地方創生」| 和泉 洋人 東京大学特任教授、元国土交通省住宅局 局長
前内閣総理大臣補佐官（地域創生等担当）
- 13:30 基礎講演「地域を元気にした HOPE その先進性と地方の覚醒」| 岩田 司（前掲） 元地域住宅計画推進協議会 顧問
- 14:00 事例報告「東北の現場から HOPE 計画の立役者たち」
報告 1・「地元専門家の活躍と HOPE」 福島県三春町
報告 2・「地域の活性化と HOPE」 山形県金山町
- 14:30 休憩
- 14:45 パネルディスカッション 「住まいまちづくりの地域性とは何か？」
○司会 岩田 司（前掲）
○パネラー 渡辺 定夫 東京大学 名誉教授、元地域住宅計画推進協議会 顧問
三井所 清典 芝浦工業大学 名誉教授、元地域住宅計画推進協議会 顧問
前公益社団法人日本建築士会連合会 会長
川崎 直宏 市浦ハウジング&プランニング 代表取締役社長
- 16:15 総括 「現場の声と HOPE 計画 40 年」| 内田 晃 北九州市立大学地域戦略研究所 教授
元地域住宅計画推進協議会企画推進委員会 委員長
- 16:30 閉会の挨拶 村尾 修 東北大学災害科学国際研究所 教授

主催：東北大学工学研究科都市・建築学専攻

共催：東北大学災害科学国際研究所

後援（予定）：国土交通省、一般社団法人日本建築学会東北支部、公益社団法人日本都市計画学会東北支部、公益社団法人住宅学会東北支部、公益社団法人日本建築家協会東北支部、一般社団法人宮城県建築士会、一般財団法人ベターリビング、一般財団法人住宅・建築 SGDs 推進センター、一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構